

仙白園プロジェクト

No. 59

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



4月14日に今年度第1回目の活動を行いました。ちょうど、仙白園の畑のそばの桜の花が満開だったので、お花見会をしながら、今年度の活動計画について話し合いました。久しぶりに顔を合わせるメンバーや今年度から新しく参加してくれた人たち（「やったー、新メンバー加入だ！」担当者心の声）がいたので、うきうきした楽しい気分でのスタートでした。電動耕運機で全体を耕した後、全員でうね作りを行い、じゃがいもの植え付けをしました。仙白園の畑は、そんなに広いわけではないのですが、鋤を手に耕すと、なかなか大変な作業でした。改めて、農業の大変さを実感することができました。今年度も、仙白園をより多くの人たちに知ってもらう活動を中心に、仙白園の由来や、仙台白菜について知ることができるミニ記念館的なものを作りたいと考えています。また、自分たちだけでなく、他団体との連携により、昨年度以上に、多くの人たちと関わる機会の創出をしていきたいと考えています。

満開のしだれ桜



正確に測りながら、じゃがいもを植えました。



次回の活動は、4月28日（土）に、「野々島」に出かけていくイベントです。
明るく元気に頑張りましょう！



仙台市若林区中央市民センター
TEL: 022-282-1173
FAX: 022-282-1180

仙白園プロジェクト

通信No. 60



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハフタイ

4月28日（土）に「白菜のルーツを探る旅」を開催しました。仙台白菜のふるさとである松島湾に浮かぶ野々島を訪ねました。「なぜ、白菜のふるさとが島なの？」白菜の仲間であるナタネ・カブ・コマツナなど、いろいろな植物と交配してしまうと、純粋な白菜ではなくなってしまう、結球した白菜にはならないため、交雑しないように島で種を作ったのが、始まりだからです。そうした仙台白菜始まりの地を仙白園メンバーで訪れました。当日は、仙白園メンバーだけでなく、たくさんの参加者もいたので、総勢100人ほどの団体になりました。当日は、晴天にも恵まれ、菜の花（白菜）が辺り一面にきれいな花を咲かせていました。参加者の中には、「白菜の花とは思えない。」などの感想を持った人もいました。ほとんどは、花を咲かせる前に白菜として収穫して食べてしまうので、花を咲かせた白菜の姿を見た人は少ないようでした。花を見ながら、白菜鍋を食べ、おいしく食べることができました。

より多くの人たちに、仙白園（養種園）の由来や、仙台白菜について伝えるという活動の大切さを確認し、仙白園メンバーも白菜のルーツを再確認したよい旅となりました。



白菜の花がとてもきれいで〜す!



白菜の花を見ながら、おいしく白菜を食べました。みんなで楽しく仙台白菜の歴史を学びました!



天気も白菜の花も最高でした。楽しい白菜のルーツを訪ねる旅となりました。来年も、また行きたいで〜す!



ハフタイ

仙白園プロジェクト

通信No. 61



ハクリン



ハクティ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

6月16日（土）に畑の整備に取り組みました。今回は、仙白園の参加者に加え、チャイルドボランティア（チャボ）にも協力してもらいました。

4月に植えたジャガイモや枝豆の生長もさることながら、雑草の伸びも著しく成長していました。たくさん草取りした後に、7月の収穫祭に向けての事前調理で、じゃがいもを焼いて食べました。今回は、畑で採れたじゃがいもではありませんが、焼きたてのいもにバターや塩をかけて食べました。普段あまりしない食べ方でしたが、参加者のみなさんは、1人2、3個をもりもりと味わっていました。チャボの子どもたちは、「とろとろとけていて、おいしいね。」と炭火でマシュマロを焼いて食べました。次回7月29日の収穫祭に向けて、じゃがいもやとまとが夏の暑さに負けないで、さらに大きく生長するようにお世話していきたいです。



たくさん抜きました！袋いっぱいだ！



きれいに なりました！



焼きたては、おいしいな～！
7月のとれたてのじゃがいもを食べるのは、たのしみだな～！



じゃがいももマシュマロも！
最高です！たくさん食べました！



マシュマロは、焦げないように、焼き加減が大切だね！



ハクティ

仙白園プロジェクト

通信No. 62



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハフティ

7月29日（日）に仙白園と市民センター共催事業の「じゃがいもを掘って食べちゃおう！」が、行われました。朝から降雨が心配される中、仙白園メンバー、申し込みのあった親子11組の参加に加え、今回も、チャイルドボランティア（チャボ）にも協力してもらいました。

4月に植えた4種類のジャガイモ（オオシロ、男爵、メイクイン、キタアカリ）と枝豆が収穫の時期を迎えました。参加者全員で大きく育ったじゃがいもを掘り当てるべく、懸命に土を掘り返しました。「あった〜！」、数センチも掘らないうちに、土の中からゴロゴロとした握りこぶしよりも大きなじゃがいもをたくさん見つけることができました。「もう、芽が出ているジャガイモもあるね。」「1個のジャガイモから、10個以上もとれるんだね。」など、子どもたちの思い思いの感想が聞かれました。

「こっちにもある。」「すご〜い。」「またあった。」と、1人で30個以上も見つける子もいました。見守っていたお父さん・お母さんもいてもたってもいられずに、いっしょにジャガイモ掘りに参加しました。総勢30人以上で掘ったので、30分ほどで、買い物かごで4個分のじゃがいもを掘ることができました。



やった〜！
とれた〜！
そんなに深く掘らなくとも、じゃがいもがゴロゴロと出てくるよ！

かごいっぱいメイクインが収穫できた！やった〜！



子どもたちのシャッターチャンスは逃せない！いっぱいとってね！

ジャガイモ掘りの後に、冬の収穫祭に向けて、白菜の種まきをしてもらいました。「白菜の種って、ものすごく小さいんだね。1mmくらいの小さい種なのに、サッカーボールくらいの大きさになるんだね。」と、白菜の種を見たことがなかった子どもたちがほとんどでした。

今回、「松島新2号」、「秋の祭典」、「郷秋」という品種の白菜の種をまきました。



小さい種だけど、大きく育ってくれるといいな。冬の収穫祭の時には、おいしい白菜料理が食べられそうだね。



仙白園プロジェクトの若者として頑張ります！

「冬に採れる白菜って、夏に種をまくんだね。」、「おいしい白菜が採れるといいね。」など、感想を話し合いながら、活動しました。

活動の最後に、じゃがいもの試食と、仙白園のPRを行いました。

現在、若林区役所や文化センターがあるところに、かつて、伊達邦宗伯爵が、東北の農業振興のために様々な野菜を育てていた「養種園」という農場があった場所であることや、仙台白菜発祥の地であることなど、「養種園」の歴史について学びました。

子どもたちからは、「今まで知らなかった歴史や野菜について、知ることができたり、おいしくジャガイモを食べることができたりしたので、とても楽しかったです。」という感想が多く聞かれました。

「冬の収穫祭にもぜひ参加したいです。」など、早くも次のイベントを楽しみにしている参加者もいました。

参加者全員が笑顔になれるよい収穫祭になりました。

仙白園プロジェクトでは、仙白園での活動を通して、仙台白菜発祥の地としての歴史と、食を通じての地域交流を図ることができればいいと思います。今後もこうした企画をどんどん考えて、多くのみなさんに参加してもらえればと思います。



ハフティー



チャボメンバーのみなでいも洗いと袋詰めをお手伝いしました。



もう！お腹いっぱい！



たくさんの方々に喜んでもらえたね！

仙白園プロジェクト

通信No. 63



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクタイ

8月26日（土）の活動は、農業園芸センター市民農園において、農業園芸センター・全農・明成高校高橋先生、仙白園プロジェクトメンバーの4者で連携し、そして、チャイルドボランティア「チャボ」にも協力してもらい、「仙台白菜プロジェクト」の白菜の苗植えイベントを行いました。イベントでは、新聞の告知で市民農園に来場した約150名の一般参加者の方々に、仙台白菜の歴史や養種園についての講話の後、白菜の苗の植え付けを行いました。事前の7月29日に種まきをして作っておいた苗を、市民農園の一角に植えていただきました。当日は、朝までの土砂降りの雨の影響、畑が水田のようになり、ぬかるんだ泥に足を取られながら、転びそうになる場面もありましたが、チャボのメンバーを中心として、仙台白菜の原種である松島純2号と秋の祭典という品種を2種類の植え付け作業を行いました。植えつけられた白菜は、11月10（土）、11日（日）に予定されている収穫祭イベントで、来場者の方々に試食してもらう予定です。順調に収穫することができるように、大きく生長してほしいと思います。午後から、仙白園の畑にも、白菜の植え付けを行いました。仙白園の畑も、1週間続いた雨のために、どろどろの土になっていましたが、少しずつ土を掘り起こし、うねを作り、植え付けを行いました。日照不足のせいか、白菜の苗は、例年よりも育ちが遅く、小さいものが目立ちましたが、この後、12月の収穫まで、市民農園に植えた苗に負けず、大きく生長してほしいと思います。収穫するのが楽しみです。



養種園から始まって、現在は、仙白園として活動しています。



仙台白菜と言えば、できて120年くらいの割と歴史の浅い、新しい野菜なんです。



畑の土に足を取られながら、白菜の苗を植えました。まるで、田植えの様でした。



雨交じりの天気でしたが、たくさんの方々が参加しました。



3種類の白菜の苗をプレゼントしています。どうぞ！



チャイルドボランティアについて取材を受けました。



チャボのみなさんのおかげで、イベントが大変盛り上がりしました。どうもありがとうございます！チャイルドボランティア（通称：チャボ）は、若林区を盛り上げるために、一生懸命に頑張っています。

お手伝いしてほしいことがあれば、お気軽にお声がけください。



今回、参加して下さったみなさん、ありがとうございました。12月8日（土）の仙白園クリスマス会にも参加していただければと思います。ご参加をお待ちしています。

平成30年9月22日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

仙台No.64



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクティーン

9月22日（土）の活動は、一昨年からの新しく取り組んできたワカチュウ子どもランドでのブース「ワカチュウカフェ」の運営でした。ワカチュウカフェでは、来場した参加者のみなさんに、畑で収穫したいもを茹でて無料で提供しました。

当日は、朝から雨交じりの天候で、お客さんがたくさん来てくれるか心配でしたが、オープン当初から小さなお子さんを連れた家族連れがたくさん来場してくれました。準備したさつまいもとじゃがいもが全て完売になるほどなど、「ワカチュウカフェ」だけでも、245名の来場者があり、大盛況でした。朝から、いもをゆでて準備していたもののオープンと同時にたくさんの来場者がやって来て、ゆで上げるのが間に合わないほどでした。けれども、仙白園メンバーは、昨年度までの経験を生かし、スムーズに対応することができました。調理したり、呼び込みをしたり、来場者を案内したりと、準備・運営で大忙しの1日でしたが、「来場者の笑顔が、仙白園の源です。」（仙白園若者談）と、疲れも見せず、熱心に活動しました。

次回の12月8日（土）の仙白園クリスマス会に向けてのPRも忘れずに取り組みました。次回もたくさんの来場者に喜んでもらえるように、仙白園の目玉である白菜を育てながら、協力して準備を進めていきたいと思えます。



おいしいおいもを準備していますよ。
ワカチュウカフェが始まります！



チャイルドボランティアのみなさんも
ちょっと一休み！「いそがし！いそがし！」
お手伝い頑張ります！



アツアツのじゃがいも・さつまいもおいしい
ね！おかわりしようかな？
あわてないでゆっくり食べてね！



メンバーみんなで反省会！
たくさんのお客さんに来てもらえ
てよかったね。来年も楽しみだね！

平成30年11月10日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 65



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



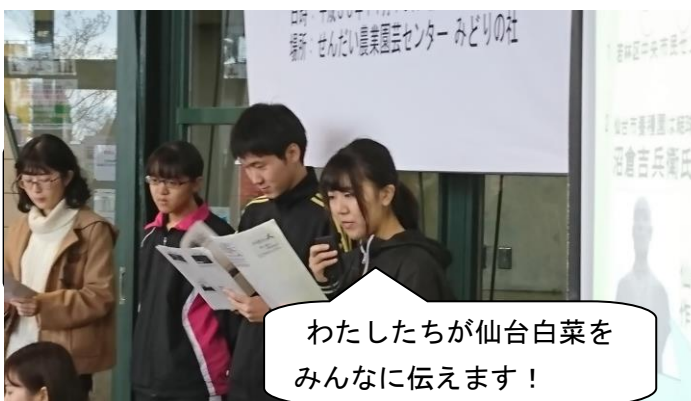
ハクタイー

11月10日（土）の活動は、8月に農業園芸センターの市民農園に植えた仙台白菜の収穫でした。当日は、養種園と仙台白菜についての学習をしてから、実際に、参加者が1人1つの白菜の収穫に取り組みました。苗を植えてから3カ月が経ち、一つ一つの白菜が丸々と大きく育った白菜を収穫し、参加者全員が大事そうに抱え、秋の収穫を喜び合いました。今年は、夏の猛暑、台風の影響があり、昨年ほどの白菜が収穫することができませんでしたが、その後には、新鮮な白菜を使った白菜スープと今年できた伊達正夢のおにぎりのお振る舞いがあり、おなかいっぱい食べて、参加者全員満足そうでした。また、全農宮城から、提供された大豆ヨーグルト3セットをかけたクイズ大会では、非常に盛り上がりました。

来月1日（土）の漬け物づくりと8日（土）の仙白園クリスマス会に向けてのPRも忘れずに取り組みました。次回は、若林区中央市民センターでもたくさんの来場者に喜んでもらえるように、会の準備を協力して進めていきたいと思ひます。



クイズは、難しいな！



わたしたちが仙台白菜をみんなに伝えます！



どれがおいしいかな？



台風で被害を受けた白菜もありますが、味は、ばっちりです。



収穫したての白菜で作ったスープは、最高で〜す。

平成30年12月 1日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 66



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクティィー

12月 1日(土)の活動は、12月8日(土)の仙白園の1番のイベント「仙白園クリスマス会」に向けてのキムチ&白菜漬け作りとイベントについて話し合いました。今回の材料は、仙白園にちなんで仙白園の畑から大根と白菜を用いました。

当日は、事前に下漬けしておいた白菜と大根で、キムチ漬けづくりに取り組みました。参加したベテランの仙白園サポーターに支えられながら、漬け物樽3つ分(白菜6玉)を上手につけることができました。また、仙白園の畑から、今年もたくさんの仙台地大根という品種の大根がたくさん取れたので、大根をねこの形に切りそろえた煮ものづくりにも取り組みました。「食べちゃうのがもったいない。」など、話し合いながら、和気あいあいと活動をすることができました。

来週の「白菜たっぷり鍋でクリスマス会」では、仙白園メンバーの考えた白菜鍋を来場者の方たちに喜んでたくさん食べてもらえるように、会の準備を協力して進めていきたいと思います。



今回の参加者は、みなさんベテランです！
作業がスムーズで～す！



「かわいいけれど、大根をねこの形に切るのが、難しい！！」



「白菜漬けで大切なのは塩加減、長年の経験がものを言います！」



余った大根の葉っぱも無駄にしません。
おいしい炒め物ができました！



ハクティィー

来週のイベント本番の準備は、ばっちりです！
たくさんのお客さんの喜んでもらえるといいな！
たくさんのご来場をお待ちしております！
待ってま～す！！！！

平成30年12月8日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 67



ハクリン



ハクタイ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

12月8日（土）に、「仙白園クリスマス会」が行われました。この日に向けて、春から畑づくりに取り組み、夏に白菜と大根を植え、育ててきました。仙白園クリスマス会は、仙白園のイベントで一番大きいイベントだけに、メンバー一人一人朝からとても気合が入っていました。オープン30分前には、すでに会場の外で20人以上のお客さんが列を作って、開店を待って来ていました。「すごい！並んでいる！人気のお店みたい！」など、メンバーの喜びの声が聞かれました。年末の恒例イベントになった「仙白園クリスマス会」、顔なじみの方や、チラシを見たたくさんの地域の方々に、市民センターに足を運んでいただき、とん汁、キムチ鍋、白菜のクリームシチュー、合わせて320杯分を食べていただきました。今年も大盛況でした。



今年も、たくさんの大根と白菜ができました。



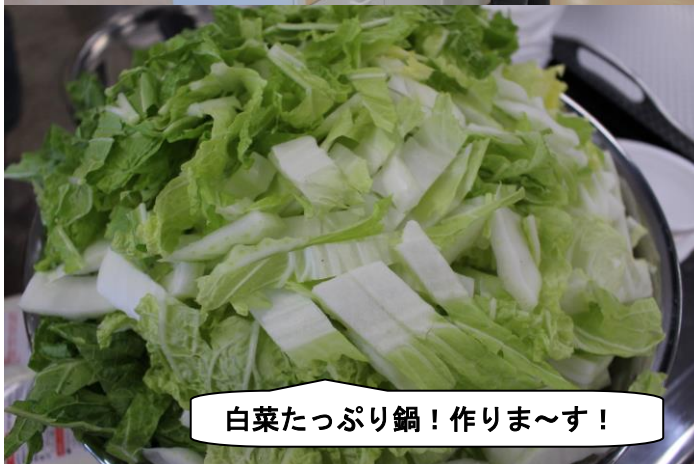
今年もたくさんおいしい3種類の鍋物を作るぞ！腕が鳴る！



この日のために、始発で盛岡から駆けつけました！
I love 仙白園！



若者チームのチームワークは、ばっちりです！



白菜たっぷり鍋！作りま〜す！



料理のコツは、おいしく食べてもらいたいという愛情です！



4種類のサイドメニューも準備オッケーです！



忙しい！忙しい！



たくさんのお客さんで座るところが…。



1人で3杯以上食べる方も…。



仙白園プロジェクトについて、たくさんの人たちに知ってもらうことができました。



仙白園メンバーみんなで、会の成功を喜び合いました。「仙白園プロジェクト」をたくさんの方々に知ってもらうよい機会となりました。来年も頑張るぞ！

仙白園プロジェクト

電話No. 68



ハクリン



ハクタイ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

3月 2日（土）に仙白園「スイーツづくり」を開催しました。さつまいもをふかし、皮をむいたものをすり鉢ですりつぶし、ねずみの形やいろいろな形に整え、オーブンレンジで焼いて「スイートポテト」を作りました。当日は、19名の若者やサポーターのみなさんも参加しました。スイートポテトづくりは、昨年引き続き、2回目だったので、参加者の腕前が向上し、手際よく次々とかわいらしい「スイートポテト」が出来上がりました。できあがったスイートポテトを試食しながら、今年1年の「仙白園プロジェクト・人」の活動を振り返りました。1年間お疲れ様でした。4月からの畑づくり、また頑張りましょう！



ピーラーを使っての皮むきを協力して、手際よくできました。さすが！！



芋を蒸かしている間に、自己PRタイム！新メンバーです。よろしくお願いします！



力仕事は、任せろ！
まだまだ若い者には負けないぞ！



みんな上手！



かわいい！食べるのがもったいないくらい！



おいしい！
おかわり！

<参加者の感想から>

- ・今年も、交流イベントでは、地域の方々と交流を通して、たくさんのお話することができました。
- ・今まで知らなかった地域のことや人と関わることの楽しさを学ぶことができました。